

【ICT を用いた多職種連携について】

あおいくま訪問看護リハビリステーション仙台は、在宅医療における ICT（インターネットシステム・情報通信技術）連携推進の観点から、訪問看護利用者の診療情報等の共有について、連携機関と ICT を用いた連携体制を構築しております。

他の保険医療機関等の関係職種により記録された利用者の医療・ケアに関わる ICT 情報を取得及び活用し、また看護師等が指定訪問看護を行った際の診療情報等について記録し医療関係職種等に共有しております。

当事業所は、厚生局に届け出を行っている訪問看護ステーションです。

2026 年 6 月 1 日より 他の保険医療機関等の関係職種が ICT を用いて記録した利用者に係る診療情報等を活用した上で、指定訪問看護の実施に関する計画的な管理を行った場合の評価を新設する。

（新） 訪問看護医療情報連携加算 1,000 円（月 1 回）

[施設基準（概要）]

- 1) 利用者の診療情報等について連携機関と ICT を用いて共有し、常に確認できる体制を有し、以下の要件を満たすこと。
- 2) 記録された利用者の診療情報等が連携機関間の協議に基づき一元的に管理されたサーバーで保管されていること。
- 3) 診療情報等の共有は、利用者、その家族又は連携機関（以下「参加者」という。）のうち利用者が同意した者のみにおいて行われること。
- 4) 参加者の範囲が随時設定可能であること。
- 5) 参加者が診療情報等を常時閲覧・取得可能で、利用者ごとに時系列で速やかに表示される ICT を用いること。
- 6) 参加者が常時必要な診療情報等を共有できること。
- 7) 一般社団法人保健医療福祉情報安全管理適合性評価協会が公表している「医療情報連携において、SNS を利用する際に気を付けるべき事項」におけるプライベート SNS に係る事項、厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を参考とすること。
- 8) 連携機関（特別の関係にあるものを除く。）の数が 5 以上であること。

- 9) ICT を用いた連携体制を構築している訪問看護ステーションであることについて当該訪問看護ステーションの見やすい場所に掲示し、掲示事項について、原則として、ウェブサイトに掲載していること。

【情報を共有している実績のある連携機関の名称】

敬称略・五十音順

アインファーマシーズ東北支店

アイン薬局仙台泉松森店

アイン薬局台原店

明日可薬局花壇

アスケアケアプランセンター青葉

荒町調剤薬局

泉中央調剤薬局

M&T 在宅クリニック

M&T 総合クリニック福室

エムツー調剤薬局宮町店

岡部医院

沖野居宅介護支援センター

おりーぶ薬局

おりーぶ薬局 荒町店

介護老人保健施設せんだんの丘

カインドネスサービス

きまち往診クリニック

居宅介護支援事業所一花

居宅介護支援事業所それいゆ

居宅介護支援事業所ゆめつむぎ

クオール薬局富沢店

ケアステーションいずみ

ケアプランセンターみんなの家

ケアプランセンター湧々庵

コスモス向陽台

佐瀬総合診療所

三条町薬局

将監地域包括支援センター

すず薬局大町店

仙台泉クリニック

仙台駅東クリニック

仙台在宅支援たいようクリニック

せんだんの丘訪問看護ステーション

せんだんの館居宅介護支援事業所

照井在宅緩和クリニック

特別養護老人ホーム ヴェール・ド・エクラ

トラスト調剤薬局

ないとうクリニック ないとうクリニック複合サービスセンター

日本調剤 あすと長町薬局

ひかり薬局宮町店

ピコス薬局 上杉店

ヘルシーサービス ハイムガーデン仙台泉

芳縁在宅診療所八幡

訪問介護事業所スマイリー仙台

訪問看護ステーションノテ富沢

みんなの在宅クリニック仙台

やさしい手仙台ケアセンター宮城野

やまと在宅診療所 仙台北

レッククラブアクロスガーデン中山2番館